

会 議 録

会議名称	第2回 豊岡市新文化会館整備基本構想・基本計画策定委員会
日 時	平成30年11月19日（月） 13：30～15：30
会 場	豊岡市役所 庁議室（3階）
出席者	〔委員〕 藤野委員、碓井委員、平岡委員、田村委員、赤澤委員、樋口委員、 與田委員、木村委員、宮下委員、大西委員 〔事務局〕 桑井地域コミュニティ振興部参事、木下文化振興課長、小川文化 振興課(市民会館)参事、田中係長、真島 (株)シアターワークショップ 伊東、佐藤、東
欠席者	〔委員〕 杉山委員、平田委員
議題等	1 開会（あいさつ） 2 前回委員会の確認 3 協議事項 （1）市民意見の収集状況 ヒアリング結果（中間報告） （2）市内のホールの現状整理および新文化会館の方向性（案） （3）その他 4 その他 5 閉会
会議資料	・豊岡市新文化会館整備基本構想・基本計画策定委員会次第 ・豊岡市新文化会館整備基本構想・基本計画策定委員会（第2回）資料
次回会議	平成31年1月29日（火）

〈審議結果は次のとおり〉

1 開 会（あいさつ）〔藤野委員長〕

本日は、新文化会館の方向性について検討したい。

兵庫県は、5つの国でできた多様で豊かな自然と文化が集まる場所。

但馬に隣接する丹波市は、交通の便が良く大阪・京都・神戸まで高速で1時間足らずで出ることが可能だが、交通の便が良すぎるゆえにストロー効果で、人々が神戸等に流れてしまう。ネックレスというが、そこでアイデンティティ・魅力を作り出すことが難しい状況にある。

豊岡市の場合は、交通の便が劣ることを逆手にとって、ここが拠点となるようにすれば良いのではないかと考えている。ある意味で世界水準の都市型文化装置をつくれば10年経てば個性を放ち、人口減少に歯止めをかけるだけでなく、非常に面白い人が集まってくるのではないかと。どこにでもあるような田舎のホールではなく、ここ（豊岡）にしかない、周りから人をひきつける様なホールが出来れば良いと考える。

2 前回委員会の確認

第1回策定委員会において、委員から出された意見等を報告

3 協議事項

(1) 市民意見の収集状況 ヒアリング結果（中間報告）

○11月9日（金）、10日（土）の2日間にわたって1日2回、計4回実施した。24団体・32名の参加があり、その時に出された主な意見等（資料参照）について報告

【意見交換】

発言者	意 見 等
委 員 事務局 (TWS)	<ul style="list-style-type: none">・ホールの客席規模について、1000席以下で興行が成り立つのか。・どの程度の収容人数があれば、市民会館の自主興行となり得るのか。・公立文化施設では収支率50%くらい、一般的に黒字にはなり得ない。一定の行政負担が必要。客席数だけの問題ではない。・発表活動を「空席が目立つ大きなホールで行うのが良いのか」、「適当な規模のホールで満席感を味わいながら行うのが良いのか」ということもある。採算性だけでは判断が出来ない。
委員長	<ul style="list-style-type: none">・国内外の他のホールのチケット収入も50%はいかない。・商業的なものを行って集客しようとするなら1000席以上あった方がいいが、それがこの地域（豊岡）に相応しいのか、将来への持続可能性や子どもの感性を育むことも観点におきながら議論で進めなくてはならない。
委 員	<ul style="list-style-type: none">・前回の会議では500席と考えていたが、成人式のことを考えると800席は必要・演者として、空席が目立つ客席での公演はやりたくない。満席だと感じられるセパレーションシステムの採用について検討してほしい。（800席、500席、300席と大きさに応じた施設利用料を設定）・遠方からの利用者に対する交通費補助を考えてほしい。・豊岡市全域でホール難民が出ている。6・7年後ではなく、新施設を早くつくってほしい。
委員長 事務局 (TWS)	<ul style="list-style-type: none">・費用面を考えるとセパレーションシステムが可能かどうか疑問・客席の照明を調整し、光天井の効果で奥が見えなくするなど工夫を凝らし、いかに簡単に安く空間を変えるかが重要。

事務局 (TWS) 委員	建設費を安く、メンテナンス経費をおさえ、舞台から客席を見た時におかしくないよう考えるべき。(簡単ではない)
事務局	・デザインを工夫し、光の空間や照明などを考え、1階何席・2階何席、サイドを閉めるようにすればコストも抑えられ問題ないように感じる。
委員長	・遠方からの利用者に対する交通手段・補助などの問題については、別での議論が必要。この場では、難しい。 ・ドイツでは、地域のコミュニティグループがバスを仕立て、会場に乗り付けている。日本でもそんな会員制度を作れば良いと考えるが、市が音頭をとってできるのか、財源的に可能なのかという問題はある。

○その他の収集方法として、

- ・市民ワークショップを3回予定(定員; 30名程度)
- ・市民アンケート調査を11月下旬に実施(対象; 高校生以上3000人)

(2) 市内のホール現状整理及び新文化会館の方向性(案)について

○市内のホール現状(資料参照)について報告

○新文化会館の方向性(案)について意見交換

※新文化会館の施設構成案

A案: 大ホール+小ホール+リハーサル室

B案: 大ホール+小ホール

C案: 大ホール+リハーサル室、(小ホールは別の場所に新築整備)

D案: 大ホール+リハーサル室、(小ホールは別の場所に既存施設改修整備)

E案: 大ホールとリハーサル室のみで小ホールはなし

【意見交換】

発言者	意見等
委員長	・大ホールを仮に800席とした場合、1階を500席、2階を200席・300席程度にする案が理想的な構成。ただし、1階席のサイドラインを豊かにすると2階席の勾配がきつくなってしまう高齢者には厳しい。
事務局 (TWS) 委員長	・A案の大ホール、小ホール、リハーサル室というのが理想ではあるが、建設費を考えると難しい。事例提示のあった豊橋 PLAT の建設費ほどの程度か。 ・PFI 事業であり、多少安価であるはず。金額は調べてみる。 ・財源的にA案が難しいようであればB案、小ホールを整備するとした場合「響きの良い音楽ホール」に近いものになる。小ホールのみを別の場所に新設するC案はないと考える。B案とE案の可能性が高い。 B案; 大ホールは2層構造として仮に小ホールを作るとした場合、音楽専用ホールに近いもの。200席の小ホールは稼働率が高く、プロの演奏会や市民発表会でもチケットがさばき易いことから、そういったものを豊岡で作るというのも一案 E案; 練習場として使う比率が高いのでリハーサル室として使用し、年に数十回かは、発表会や自主事業の鑑賞型として使用する。残響が気になるが、残響は可変にすることが出来るのか。

事務局 (TWS) 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・可能である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・豊岡の新文化会館は、但馬の中核でなくてはならない。800席では和田山のジュピターホール、養父の市民会館が同規模である。同等規模だと特色がない。「但馬で大きな公演を実施する時は、豊岡新文化会館を」と言えるようなホールであってほしい。 ※兵庫県吹奏楽コンクール但馬地区予選のチケットは、2000枚売れている。コンクールを豊岡でやる理由は、1100席のキャパがあるから。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・A案が一番良い。 ※小ホール規模の公演に慣れている利用者が無理に大ホールを利用した場合、オペレーションや備品などで問題が生じるケースが多い。また、ステージが汚れるなどといった機能面での問題も起こり得る。 ※小ホールは、300席だと中途半端なので200席か、400席で議論をした方がいい。300席は、利用料金などを考えてもバランスが悪く、録音にも使えない。 ※C案・D案・E案では、大ホール部分に、小ホールの客層が入り込んでくるのが懸念される。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・B案が一番良い。 リハーサル室もいろんな団体が練習するという意味で必要だが、料金の問題がある。利用料が、毎回数千円必要となるならば、この経済力を持つグループは少ない。小ホールは、豊岡市民プラザとの関係もあるので、200席くらいの少し変わった形態の魅力ある小ホールにするなど、差別化が必要。大ホールは、600席～800席が適当である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・A案で1000席位の大ホール、使い勝手が良い200席位の小ホール、多目的で使えるリハーサル室を希望 800席であれば、養父や和田山と同規模。1000席に意味・意義がある。1000席をいっばいにしようという攻めの姿勢が必要。現実には、少子化・人口減少で利用者がいないことも予想されるが、利用を増やそうという意味での1000席ホールが必要
委員 事務局 (TWS) 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・リハーサル室は1つなのか、複数を考えているのか。 ・練習室(小さい部屋)は複数、大きなステージと同じくらいのリハーサル室1つを考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・予算や立地を考えなければ、A案が一番良い。 但馬の中核市としてふさわしいものがない。様々な工夫をすれば大きなホールを使用しても無駄なく、省力化を図れる技術があれば、大は小を兼ねるというわけではないが、後に1000席にすれば良かったと後悔しても遅いので、じっくり考える必要がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・A案が一番良いが、最悪E案を希望 ジュピターホールが800席、養父ホールが700席であれば、但馬の中で豊岡が一番活動できている市だと思うので1000席規模がいい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・小さい練習室が複数設置してほしい。 練習会場が不足している。リハーサル室が出来ても、財源的に練習利用は難しい。小さい練習室がいくつかあるのであれば、ありがたい。市民会館は大きすぎる。800席くらいがありがたい。大きいホールだと、生の声が飛ぶのか心配がある。音響が大丈夫なのであれば、1000席は少し大きい感じするがかまわない。200席・300席だとコーラスの本番では規模が小さい。C案・D案は、ひぼこホールがなくなる時に、

委員	<p>出石庁舎の市民ホールを改修し、小ホールとして検討することも可能と回答されていたのが気になる。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインや照明でどうにかなるのであれば1000席として、800席、500席、300席として使えるような仕様にできないか。 <p>小ホールだと、コンサートホールのようになりそうだが、そうではない300席を使いたい人もいる。予算を踏まえることも重要。距離的に置き去りにされがちな地域のことも考慮してほしい。</p>
事務局 (TWS)	<ul style="list-style-type: none"> ・人口推移や豊岡がどのように変わるのかについても議論が必要。数値的に見ると暗いことばかりだが、市民の協力体制や工夫で変えられる。多目的ホールにマイナスイメージを持っていたが、現在の多目的ホールは以前と違うということを知って少し安心した。また、セパレート方式で、客席問題も対処出来るということで、議論を重ねることにより意見もまとまっていくと考える。
委員長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・客席を分割することについて、「コラーレ」は客席を三層にしている。1階だけを使うと小ホール、2階まで使うと中ホール、3階まで全部使うと大ホールでトータル1000席となる。1階が500席、2階まで使うと750席。このやり方をすれば、意見に出ているような使い方は可能。 ・予算は、まだ公開できないのか。 ・議会に対し、新文化会館の建設にかかる試算額を42億円と説明している。(近年の建築費の全国平均㎡単価を70万円と仮定し、現市民会館の延床面積6000㎡を乗じた額)
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・1100席をそのまま建て替えた場合は42億円。大ホール1つだけでホールを建て替えるのであれば42億円が目安、それを800席と200席、あるいは700席と300席という風に分割すれば、同じ予算の中で二つのホールが出来るのではないか。 ・ジャンルによってスペックもキャパも全く違うものになる。 ※吹奏楽であれば1000席以上でないと効果があがらない。 ※室内楽であれば200席～400席くらい(1000席だと成り立たない。) ※合唱だと声に限界があり、アカペラの室内合唱団だと500席～600席が良い。 <p>◎1000席を超えるホールを合唱や室内楽で埋めるというのは、知名度に頼ったとしても難しい。42億円をどのように分割して、皆が合意できるようなスペックを考えるかというのが今日の目標だったが、今日だけでは方向性は出てこなかった。</p>
事務局 (TWS)	<ul style="list-style-type: none"> ・延床面積6000㎡とあったが、1席あたり大体2坪くらい必要なので1000席のホールだと6600㎡の延床となる。1000席の大ホールと200席の小ホールだと1200席になるので、今の延床では入らない。工夫が必要。また、㎡単価を1㎡70万円としているが、現在はさらに高くなっており性能を上げようすると、より㎡単価は高くなる。 ・今回は、最近の事例等を挙げて話したいと思う。現状では、A案の採用はかなり難しい。その時に、何を優先すべきか。今日は結論が出ないので、再度いくつかの案をつくるので、検討して頂きたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・席の大きさの関係について、先般利用した会場の席幅が非常に狭かった。予算の関係もあると思うが、ゆったり座れるような席を希望する。将来展望を見据えて議論していかなくてはならないと思う。
事務局 (TWS)	<ul style="list-style-type: none"> ・椅子は、旧標準で45cmだったが、近年は52cmくらいになってきている。また、椅子と椅子の前後間隔も最近では95cm以上を確保するよう

委員長	<p>になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設維持も大変で、ひぼこホールも年間 3000 万円の経費がかかっている。大ホールだけで年間約 10,000 人入ると考えると、1 席あたりの市の負担が 3000 円となる。今後の維持を考えると、1 席あたり 3000 円を毎回維持できるのかという問題がある。 <p>使用料が高いというが、大阪はここよりも一桁多い。そういう自治体と比べると豊岡は良心的。</p> <p>攻めることも大事だが、納税者に対する説明責任も必要となる。文化を享受するのは一部なので、そこも含めて席数・スペックを考えていかなくてはならない。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・公立であるのこと、将来の人口減のことについて考えていかなくてはならないというのはわかる。だからこそ、豊岡という特色を出して、世界に売り出して、豊岡市民が豊かに暮らせるような市民会館にしなければならない。少なくとも但馬の中核である豊岡ということを考慮してほしい。

4 その他

【報告】

○12 月議会において、出石文化会館を廃止する条例改正及び解体に伴う予算等について提案予定

○次回の委員会、平成 31 年 1 月 29 日(火)午後 3 時から市役所の大会議室で開催

5 閉 会〔田村副委員長〕